

2016年 3月 No30

「希望」新年度総会 5月21日（土）に開催します**四方田清氏—順天堂大学教授のお話もあります**

3月3日に開催された理事会で、平成28年度の「希望」の通常総会を5月21日（土）10時から開催することが決定されました。会場は総合福祉センター（社会福祉協議会の建物）の3階の会議室です。毎年使用していた「わろうべの里」よりも交通の便が良いことから今年会場の変更を致しましたのでお間違えないように、そして多くの会員の皆様のご出席をお願い致します。

今回は総会終了後、順天堂大学スポーツ健康科学部教授の四方田清先生をお招きして、お話を伺う予定です。

同教授は、四街道市家族会「ホープ」を立ち上げた際に、印旛保健所の精神保健福祉士として支援して下さった方です。大変懐かしく思われる人が多いことから家族会の皆さんにもお呼びかけして聴講していただきたいと思います。

「希望」会員の皆さんからもお誘いして、多くの方々に先生のお話を聴いて戴きましょう。なお、出席する会員の皆さんには当日お弁当をお配りする予定ですので、お知らせが届きましたら出席通知をお早目に出してください。

「しごと受注協議会」のリーフレットができました

市内の5か所の事業所が、共同でしごとを受注する組織「しごと受注協議会」のリーフレットができました。(株)MEGUMIYA、青空協同組合、生活さぼりとピース、ワークショップ四街道、どんぐり工房の5事業所が製作品、得意分野の仕事などを広く市内外の企業・団体等に知って貰おうと協働で作成したものです。

三月初めには、産業振興課のご協力で市商工会へも届けて、市内企業からの発注をお願いして来ました。

いずれの福祉事業所も、工賃アップが課題ですが、共同受注で仕事の量を増やして利用者の皆さんと汗を流しながら達成して行こうと頑張っています。リーフレットを置ける、お心当たりの所をご紹介下さい、リーフレットをすぐにお届けします。(担当 大淵)

「パニック障害」について ～ 清水 真奈美

市障害者支援課が主催する精神保健福祉普及啓発講演会「パニック障害について」に参加しました。講師は精神保健福祉センターの精神保健指定医石川真紀先生。

日常でも多忙になると「パニックになる～！」等と冗談っぽく言うことがあると思いますが、パニックが症状として、又日常生活の障害になるほど深刻なものであると認識を新たにしました。

「自分分析」

作
と
も

男言葉を使うときは ハイな状態
平常心より グラフが上
危ない

何もしゃべらないのはロー状態
良くない

女言葉で息をしっかりと吸って

普通の音量で喋るのが

いちばん良し！

「とも」作品集5より

先生のお話では、パニック障害の原因は完全には解明されていませんが、先ず本人が病気を知ること、家族や周囲に理解してもらうことが大切であるという事でした。パニック障害に限らず、様々な障害について誰からも理解される世の中になる事こそが“生きやすい社会”であると、併せて考えさせられた学習講演会でした。(3月5日)

第4次四街道市障害者基本計画を答申

四街道市保健福祉審議会が市長へ

去る2月22日、四街道市保健福祉審議会は市長に第4次四街道市障害者基本計画と第2次四街道市地域福祉計画を答申しました。「障害者基本計画」はノーマライゼーションの考え方を一歩さらに進め、全ての人を社会の構成員として包み、支え合い共に生きる社会を目指すという「インクルージョン」の考え方に基づいているのが大きな特長と言えます。そして本計画の基本理念を「障害のある人もない人も、ともに自分らしく輝いて生きることができるまち 四街道」と定めています。

さらに、前の計画(第3次計画)では5つの重点目標を設定していたものを、本計画では、6つの重点目標として掲げているのが注目されます。1は「差別の解消及び権利擁護の推進」2は「相談支援の充実」として、基幹相談支援センターの設置を謳っています。3は「障害のある人の就労支援」として“障害者優先調達推進法を踏まえ、障害者施設からの物品調達拡大”を目標に掲げています。4は「障害のある子どもへの支援」5は「ともに生きる地域生活の実現」6が「生活環境全てにおけるバリアフリー化の推進」です。皆さんもぜひこの計画をお読みになってください。「福祉都市」宣言をした四街道市の基本計画です。市のHPから見る事ができます。なお、「審議会」には「希望」事務局長の大淵義明と会員の伊佐勉が委員として参画し審議に加わりました。